

西日本豪雨の恩返し

台風19号被災地を支援



10月12日に日本へ上陸した台風19号は、東日本に大きな被害をもたらしました。西日本豪雨の際、支援物資を届けていただいた福島県相馬市や、東日本大震災で使用した仮設住宅を提供していただいた福島県いわき市などへ職員を派遣。物資の運搬や現地での支援活動を行いました。

問い合わせ 危機管理室 (☎) 8599

昨年培った経験を
支援活動に生かす

10月14日、総社市職員6人を含む、赤磐市・認定特定非営利活動法人A M D Aとの合同チームが福島県相馬市に出発。16日にも職員1人が加わり、現地で支援活動を行いました。西日本豪雨での経験を生かし、被災証明発行のための被災家屋調査や災害廃棄物処理業務を担当しました。



相馬市の被害状況【10/15】

総社市を中心に
広がる支援の輪

市役所では、10月13日から支援物資の受付を開始。昨年の恩返しをしたと、高校生ボランティアも受付に加わりました。市内外から多くの物資が集まり、15日に相馬市、18日にいわき市、11月13日に長野市へ届けました。

相馬市・いわき市では、総社市が災害時支援協定を結んでいる認定NPO法人ピーク・エイドの野口健さんと合流。飲料水と自動ラップ式トイレを届けました。



野口さんと打ち合わせ【10/14】

相馬市



届けられた飲料水【10/15】



協力して物資を搬入する【10/15】



昨年の経験からアドバイス【10/15】



相馬市の職員と合同調査【10/15】



家屋調査のため被災地を巡る【10/15】



調査書類を整理【10/18】



集められた災害ごみ【10/18】



災害廃棄物運搬車両を誘導【10/18】

いわき市



野口さんとラップ式トイレを搬入【10/19】



支援物資を運び込む【10/19】

長野市



搬入された支援物資【11/13】

常陸大宮市



応援職員が協力して調査【10/19】



応援職員が集合して打ち合わせ【10/20】